

まなび

令和5年7月20日（木） 東松島市立赤井小学校

4月に実施した標準学力調査の結果についてお知らせします。現在、標準学力調査の結果を各学年で考察し、学力向上に向けて取り組んでいるところです。夏休み明けには、標準学力調査振り返りデーとして、類似問題等で復習をする日を設定しています。

なお、個人の結果については、三者面談の際に担任よりお渡しいたします。伸びている点や課題となる点をお子さんと一緒に確認し、今後の学びにつなげていきたいと考えます。

令和5年度第1回標準学力調査の結果から (2～6年生実施)

1 国語

(1) 結果と考察

ほとんどの学年で全国平均正答率を上回るか、ほぼ同等という結果でした。また、全ての学年で市の平均正答率を上回っています。3年生以上では、昨年4月と比較しても、全国比が上昇していました。これまでの国語科の授業改善や読書活動の推進等の取組の成果が見られます。また、日常的に読書に親しんでいる学年は正答率が高い傾向にありました。読書活動の学習的効果が見受けられます。

領域別に見ると、全学年において「書くこと」の領域で全国を上回る結果となりました。一方、「読むこと」において課題が見られる学年もありました。

(2) 今後の取組

- 文章に親しみ、語彙を増やすために、読書活動を推進します。
- 文章の内容や問題の意味を読み解くことを意識した授業づくりに努めます。
- 文章から読み取ったことや文章を読んで考えたことをペアやグループで伝え合う活動を学習に取り入れます。
- 業前の「国算タイム」で設けている長文読解の時間を生かし、様々な文章を読む機会を設けます。

2 算数

(1) 結果と考察

ほとんどの学年で全国平均正答率を上回るか、ほぼ同等という結果でした。また、ほぼ全ての学年で市の平均正答率を上回っています。日々の授業における指導に加え、業前の「国算タイム」で複数体制による指導を行った取組の成果が見られます。

領域別に見ると、多くの学年で「データの活用」の領域において全国を上回っています。「数と計算」の領域においては全国と同程度の結果となりましたが、全ての領域の基礎基本となる内容でもあり、今後の復習や繰り返しの問題演習が必要です。また、記述式の問題で正答率が低い傾向が見られました。

(2) 今後の取組

- 自分の考えを言葉で表すことができるよう、授業の中で考えを説明する場面や自分の考えをノートに記述する場面を意図的に設けていきます。
- 基本的な学習内容を押さえつつ、発展的な問題の取組や個々の課題となる単元の復習をしていきます。
- 問題場面に合った正しい立式ができるよう、日常の体験を想起させます。
- 適切な量感を身に付けられるよう、具体的なイメージを持たせたり、実際に量を体感させたりします。